

図書館だより



2019年
7月号

2019年7月19日発行

とにかく暑かった去年の夏とは反対に、今年は7月に入っても気温が上がらず肌寒さを感じる日が続きました。「最後に青空を見たのはいつだったろう？」というくらい雨も多かったですが、ようやく夏本番となりそうです。

さて、日生劇場でバレエ『ドン・キホーテ』を鑑賞しましたが、みなさんはどんな感想をもったでしょうか。生で観る機会はなかなかあるものではないので、貴重な時間になったと思います。図書館にもバレエに関連した本や鑑賞用のDVDがありますから、興味を持った人は見てみてください。

明日からは夏休みですが、まだまだ講座や部活動で登校する人も多いことでしょう。図書館は7月26日(金)まで開館していますので、夏休みの課題や2学期の予習、ゆっくりと読書などに利用してください。長い夏休みには、やりたいこともたくさんあると思いますが、読書も楽しんでほしいです。



スパイスで夏バテを回避

596.3-ヤ『今日も明日もごきげんカレー』 山脇 りこ || 著 小学館

暑くて食欲がない時こそ、スタミナのあるものを食べて、元気な体を維持したいものです。カレーはそれにもってこいの料理ではないでしょうか。スパイシーな香りが食欲をそそり、肉や野菜でたくさん栄養を摂れて、作るのも簡単、とカレーはいいことづくしです。

今すぐ食べたくなるおいしそうなおカレーのレシピが豊富に載っています。色々な具材の組み合わせがあるので毎日でも食べられそうです。ルーだけでなく、レモンバターライスやトマトごはんなど、お米のアレンジや、つけ合わせのレシピもついていて、カレーをとことん味わい尽くせる1冊です。

バレエの世界を楽しもう

769-ワ『名作バレエ50 鑑賞入門』 渡辺 真弓 || 文・監修 世界文化社

物語・見どころ・バレエ史と鑑賞をより楽しむためのポイントが初心者にもわかりやすくまとめてあります。古くから愛され上演されている作品だけでなく、20世紀以降の名作も紹介されており、みなさんもストーリーをよく知っている『アラジン』や『シンデレラ』、『ロミオとジュリエット』などの作品も載っています。それらがバレエになると、どんな風になるのかを知ってみるのもおもしろいと思います。鑑賞してきた『ドン・キホーテ』についても、もう一度読みながら振り返ってみると、新たな気づきがあるかもしれません。

✈️本で感じる旅気分✈️

長い休みを楽しめる夏休み。家族で旅行や友達との遠出などへ繰り出す人も多いかと思います。図書館には旅のガイドブックも揃っていますから、旅の予習に活用してください。修学旅行先でもあるニュージーランドのガイドブックや旅の英会話本など、2年生におすすめの本もたくさんあります。

「残念ながら遠出の予定はない」という人にも、読むだけで旅している気分になれる本を紹介します。家の中にも読書がみなさんを旅へと連れ出してくれます。

857-サ『旅しながらフランス語』 酒巻 洋子 || 著 三修社

エッフェル塔、ルーヴル美術館、モン・サン・ミッシェル、セーヌ川、そして、今年4月の火災からの再建を目指しているノートルダム大聖堂など、フランスには一生に一度は訪れてみたい名所が多くあります。この本では、出発から始まり、観光、食事、買い物、宿泊など、シーンごとに「ここを押さえておけば大丈夫！」というフランス語を教えてください。旅の流れに沿ってページが進んでいくので実際に旅をしているような気分を楽しみながら、フランス語に触れることができます。

689-ア『一生に一度は泊まりたい絶景ホテル』 アサヒカワ出版部 || 著 朝日新聞出版

旅行の楽しみは色々ありますが、宿泊先をどんなところにするかというのも旅行の気分を盛り上げるひとつです。この本で紹介されているのは世界各国の絶景が楽しめるホテルです。透き通る青い海が目の前に広がるホテル、豊かな緑と山々に囲まれたホテル、美しい街並みを眺められるホテルなど、日常を忘れて素晴らしいひとときを過ごせること間違いなしの絶景に出会えるホテルばかりです。ホテル自体の造りもとても贅沢で、いつかこんなところに泊まってみたいと夢が膨らみます。

🍵図書館司書の「今月はこの本を読みました」🍵

美しい言葉使いは、どうしたら身につくのでしょうか。

読書会のため、この夏は川端康成についてもっと学ぼうと思っています。その手始めとして読んだのが『おじ様と私』(910.2-カ 阪本昭子 || 著 PHPエディターズグループ)です。川端の母方の従姪にあたる著者は、その妹が川端の養女ということもあって、川端家に滞在したり一緒に別荘で過ごしたりしました。周囲に、川端と直に接し、その思い出を語るができる人が少なくなったことから、この原稿を書き綴ったそうです。もともと文筆業とは縁のない彼女の文章は読者に語り掛けるようなスタイルですが、とても美しいです。大和撫子とはこのような言葉使いができる人のことかと思えます。表面的なものではなく、川端への尊敬と親しみにあふれたその心持がにじみ出ているのです。きっと日本の美の心を深く感じた川端の影響を受け、成長したからなのでしょう。川端作品を読むことで、私にも身につくとよいのですが 【鈴木】

★先生がプロデュース!! 今月の展示★

今月の展示は…、数学科 関口 和孝先生がプロデュースです😊

展示のテーマは…、【 「足りない」が作る物語 】です。

人間はできることよりもできないことの方が多く、いつだって「足りない」ものがたくさんあります。「足りない」ということが切実さを生み、その切実さが多くの物語を生み出します。「足りない」ことは決して悪いことではなく、誰しもが持っているもので、ただその種類が違うだけではないでしょうか。そんな様々な「足りない」から生まれてくる物語に触れて、「足りない」ことの切実さと良さを感じてもらえればと思います。

◆展示本リスト◆

〈確かな愛情〉

913.6-イ 『北斗 ある殺人者の回心』 石田 衣良 || 著 集英社

〈愛する時間〉

913.6-イ 『余命1年のスタリオン』 石田 衣良 || 著 文藝春秋

〈弱さと強さ〉

913.6-ス 『君の臍臓を食べたい』 住野 よる || 著 双葉社

〈あなたの存在〉

913.6-カ 『あとは泣くだけ』 加藤 千恵 || 著 集英社

〈断ち切る勇気〉

913.6-ユ 『伊藤くんA to E』 柚木 麻子 || 著 幻冬舎

〈続いていく記憶〉

913.6-オ 『博士の愛した数式』 小川 洋子 || 著 新潮社

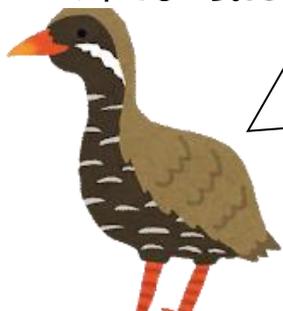
〈伝え合う五感〉

913.6-ア 『レインツリーの国』 有川 浩 || 著 新潮社

〈合理性のなき心の考察〉

913.6-ヒ 『聖女の救済』 東野 圭吾 || 著 文藝春秋

この中でもいちおしなのは…



913.6-イ 『北斗 ある殺人者の回心』 石田 衣良 || 著 集英社

親からの愛を知らない北斗が、愛を知り、そして失う。それがやがて彼を殺人者にしてしまう。それでは、彼は愛を知らなければよかったのだろうか？きっとそんなことはないはず。

多くのことを考えながら読んでもらいたい1冊です。

本で振り返る平成の30年

さて、今回は平成9年から時代と本を振り返っていきましょう。平成9年は、宮崎駿監督の『もののけ姫』が大ヒットしました。本編だけでなく、『生きる。』というキャッチコピーも印象的な映画でした。また今年3月に現役を引退したプロ野球のイチロー選手が日本最多の216打席連続無三振を記録した年でもあります。

この年のベストセラー(トーハン調べ)の第1位は、SMAPの冠番組『SMAP×SMAP』で人気を博していたコーナー「ビストロスマップ」のレシピ本『ビストロスマップ完全レシピ』でした。翌年(平成10年)のランキングでも第3位に『ビストロスマップKANTANレシピ』が入っていることから当時のSMAPの人気ぶりがうかがえます。またこの年の5位にランクインした『小さいことにくよくよするな!』の著者リチャード・カールソンは作家であると同時に心理療法士でもあります。くよくよしたり、イライラしがちな心に効く実践的なヒントは今読んで心にもスッと染み込んでくるものです。

平成11年は西暦でいうと1999年、世紀末の年でした。当時はノストラダムスの大予言によって「本当に地球は滅亡するのか!？」と落ち着かない気持ちになった人も多かったかと思います。この年の第1位になったのは乙武洋匡さんの『五体不満足』です。先天性四肢切断のため、生まれつき両腕と両足がなかった乙武さんが自分自身の体験を元に日常生活を書き綴った本です。第2位になった日本語学者である大野晋さんの『日本語練習帳』は日本語の奥深さとおもしろさを再発見できます。日本語をより深く理解し、読み書きの能力を磨くのにおすすめの本です。

159-カ 『小さいことにくよくよするな!』 リチャード・カールソン || 著 サンマーク出版

日常の些細な習慣を見直すことで、ゆとりのある穏やかな暮らしを手に入れ、人生をより豊かに生きていくためのコツを知ることができる本です。

「頭の片隅は、否定や引き延ばし作戦のための場所ではない。考えごとをチョロ火で温めておく場所だ」(頭の片隅を活用する)、「話をじっくり聞いてあげることは、とても貴重な贈り物なのだ」(話す前に息を吸う)など、筆者の言葉には「そういう風に考えてみるのは、いいアイデアだな」と思えることがたくさんあります。自分に必要なのはどんな習慣なのか読めばきっとわかってくるはず。

498-ハ 『日本語練習帳』 大野 晋 || 著 岩波書店

私たちは普段から難なく母語である日本語を使っていますが、「あなたは日本語に自信がありますか」と聞かれて、「もちろん」と即答できる人は少ないのではないのでしょうか。この本には、様々な練習問題が用意されており、自分の頭で考えた上で解説を読んで、日本語の表現や文法を身につけていくことができるようになっています。「思う」と「考える」にはどんな違いがあるか、「は」と「が」はどんな働きを持つのか、敬語はどう使えばよいのかなど、知っているようで、知らないことの多い日本語という言葉の世界を楽しみながら学んでみましょう。